

## 年頭挨拶

さんえすクラブ会長 (株)浜食 中村 秀一郎



新年明けましておめでとうございます。

昨年の年末からの寒波に見舞われ、厳しい寒さの中での新年の幕開けでしたが、さんえすクラブ会員各社の皆様におかれましては、益々ご健勝の事とお慶び申し上げます。

昨年は韓国のバルドゥレ生協との交流や、第二回さんえすまつりの開催と慌ただしく時間が過ぎた様にも思えます。

また、世間では民主党から自由民主党への政権交代があり、原発問題も何となくうやむやになってしまうのではないかと一抹の不安を抱えたまま新年を迎えてしまいました。

このような不安材料がいっぱいの状況で新年を迎えた訳ですが、今年己年であります。

昔からへび年の一年は変革や再生の年になると言われており、政権交代により与党となった自民党がどのような変革をもたらしてくれるのか？ 何を再生してくれるのかが非常に気になり、そして楽しみでもあります。

私たちさんえすクラブと致しましても、新しくチャレンジする事を大切に、己年の年に一皮脱いで、一回り大きく成長する年にしたいと思います。

本年が昨年以上の良い年を迎えられます様、会員会社同士の絆を大切に、そして生活クラブ様・福祉クラブ様との関係をより一層深め、新しい消費財の開発や新しい活動ができます事を心から期待しております。

最後に、さんえすクラブ会員会社の皆様、生活クラブ様・福祉クラブ様、そして組合員の皆様・ワーカーズの皆様にとって本年が新たな繁栄への第一歩を踏み出す年となる事を祈念致しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

## 第26回さんえすクラブ定期総会を開催しました

2012年9月25日(火)オルタナティブ生活館にて、第26回さんえすクラブ定期総会が開催され、2011年度事業活動報告、会計・監査報告と2012年度 事業計画、予算が、皆様からご理解を頂き議決されました。

2012年度 事業計画の基本方針の中では、さんえすクラブをつくった生産者(各社)と生活者(組合員)が共に考え、対話し、結びつきを強めながら、共に運動を進めていく意義を再確認するとともに、後のさらなる活動連携と推進につなげていく事と、生活クラブ、福祉クラブとの活動連携だけでなく、さんえす会員内の親睦、連携を高める企画を行い、さんえすクラブの活性化をはかる事が掲げられています。

また、生活クラブ、福祉クラブ組合員との活発な活動連携につなげる為に、2012年度も「さんえすまつり」を大勢の会員各社の参加を持って開催することが、活動方針として承認されました。



### ■役員

会長 中村秀一郎 (株)浜食 副会長 山崎貞雄 (株)ニッコー  
 事務局長 小林利明 共生食品(株)  
 常任幹事 今井正樹 (株)豆彦 常任監査役 望月裕祐 英君酒造(株)

### ■事務局

小林利明：共生食品(株) 佐藤丙午：(有)ライフ・アート 大貫正人：(株)エコ・グリーン  
 交流企画部会リーダー 川口 圭：(有)カワグチ企画  
 情報部会リーダー 山田恵介：(株)佐藤印刷所  
 宮下正一：(株)カジノヤ 山崎雅文：(株)ニッコー  
 第26回定期総会において承認された活動計画を、上記の役員及び事務局体制をもって遂行します。



## 第2回

# 133名が参加!!

■開催日時：2012年12月4日(火) 10時～13時

■開催場所：生活クラブ オルタナティブ生活館

さんえすクラブでは、積極的に「さんえすクラブ交流会」を活用してもらう為、生産者による大プレゼン大会「さんえすまつり」を、昨年度に引き続き主催しました。当日は、昨年を上回る133名（生産者16団体25名 組合員108名）もの参加者が集い、大盛況でした。

### さんえすまつりに参加して

#### 生活クラブ神奈川副理事長 藤田ほのみ

今年の「さんえすまつり」は、昨年の参加者の声を参考に交流企画部会の皆さんが検討を重ね、よりブラッシュアップされた開催となりました。生産者の皆さんのより良い祭りにしたいという気持ちが、びしびしと伝わってきました。全体会の1分アピールでは全部の会員を知ることができましたし、分散会とその後の交流・試食会での工夫されたアピールで「さんえす交流会」の具体的なイメージが持てたと思います。参加している組合員からは、ぜひ、自分のコモンズやデポーで開催したいという声があちらこちらで聞かれました。2013年度は昨年以上の交流会が開催されると同時に、各生産者の消費材の利用が広がるよう、お互い頑張らしましょう。

#### 福祉クラブ生協理事 福光早苗

さんえすまつりには福祉クラブから世話焼きW.Coメンバーをはじめとした25名が参加しました。ブースに分かれての説明や試食などこども工夫を凝らして私たちを迎えてくれました。福祉クラブは、この企画をスタートとし、3月迄さんえすの生産者と集中的また重点的に交流をしていきます。今回、今後の交流のヒントをたくさん持ち帰れました。さんえすの生産者の消費材は、高齢者の組合員にもすすめられるものがたくさんあります。福祉事業のメンバーも一緒に盛り上げていきたいと思っています。

### Aグループ3社 レポート/㈱エコ・グリーン 大貫正人



Aグループは3社だったので、1社15分ほど使って話をしました。

#### ㈱共生食品

- ・プロジェクター使用
- ・会社紹介のパンフレットを配布
- ・作ることへのこだわりの話
- ・工場見学も出来る
- ・手作り豆腐講習会の場合、調理可能な会場がいい
- ・フロアアピールもします

#### ㈱秋川牧園

- ・会社のルーツの話
- ・鶏舎についての話
- ・飼育の密度は鶏が運動できる程度
- ・飼育日数は他社は45日だが、秋川牧園では60日以上
- ・普段の学習会ではプロジェクターを使用

#### ㈱エコ・グリーン

- ・アーダブレン化粧品のカタログとテスター配布
- ・コットンを使って手の甲でローションパックを体験
- ・最近の講習会はメーカーの社長を招いて話をしてもらう
- ・化粧品以外にも健康についてもする
- ・時間が余ったので質疑応答

### Bグループ3社 レポート/㈱しむら 国田由香利



この分散会では、普段どのような交流会を行っているか、又どのような消費材を扱っているかなど各生産者、絶好のアピールタイムとして約10分という短い時間を有効に使っていました。浜食は材を使った工夫レシピを、しむらはミニ交流会として組合員同士ペアになって行うハンドマッサージを、佐藤印刷所は、印刷の入稿時におけるアドバイスのプレゼンを行いました。交流会を企画する組合員の皆様に身近に感じて頂け、またプレゼンの感想や意見を伺える場として各生産者にとっても今後役に立つ貴重な企画でした。

# 「さんえすまつり」大盛況でした

開催  
チャート

10:30～ 集合・全体会  
10:50～ 分散会 A～Eの各グループに分かれて10分間プレゼン、ミニ交流会  
11:40～ 個別ブースに分かれての交流・試食会

## Cグループ3社

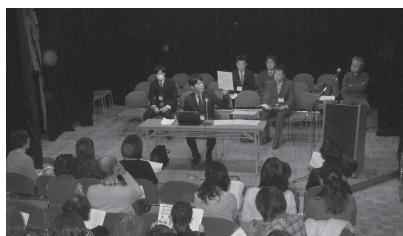
レポート/㈱豆彦 今井正樹



Cグループは 豆彦、ライフアートによる企画のプレゼンと オルタフーズによるミニ交流会を行いました。豆彦、ライフアートとも「企画のプレゼン」は今回で2回目となり昨年の反省点が踏まえられており、今年実施した交流会を例にしながら、交流会企画のプレゼンテーションが出来ていたと思われました。オルタフーズも会社案内、市販品との違い、添加物の話、天然酵母パンを作る上での苦労話等々のミニ交流会に仕上がっておりました。進行時間も問題なく、無事分散会を終了する事ができました。(スムーズに進み過ぎて時間が余ってしまいました。)

## Dグループ4社

レポート/㈱カジノヤ 宮下正一



朝の全体会が行われたスペースオルタにて、カジノヤ・カワグチ企画・オリマツ・生活クラブ農産物協議会の順でプレゼンを実施しました。中でも急遽参加が決まったオリマツさんは準備が大変だったと思いますが、各種の包材についてとても丁寧に話をされていた事が印象に残りました。個人的な反省点として、スペースオルタの様な広い会場でのプレゼンは、使用する資料により大きな文字や図を使うなどすれば、より親切だったと思いました。

## Eグループ3社

レポート/㈱ニッコー 山崎 雅文



Eグループは弊社ニッコー、アグリサポートさん、ウェルライフさんで行いました。最初は皆さん緊張した感じでしたが、各生産者の色々な取り組みに対しての質問や現状の課題点などがあがり活発な交流、意見交換が行われました。活発に行われると勢いも出てきて時間も足りないほどでした。これをきっかけに今後の交流や勉強会にいかにせよより良いものになっていくと感じました。各生産者も年間の中での活動が季節によって様々ですので、定期的な交流があるとより深く知ることが出来ると思います。

## 参加して頂いた組合員の方より

- 生産者の皆さんの熱意を感じ、嬉しくなった。ぜひさんえす交流会を開催したい。
- 生産者の方に直接色々聞いて、とても良かった。生産者交流会を企画する時の参考にさせていただけて良かった。
- これまで交流会を開催したことのない生産者のお話が聞いて良かった。
- 交流会に参加することで改めて良さを実感できるので、持ち帰りぜひ開催したい。基本的な「さんえす」の意味がわからない、知らない組合員も多いので、もっと広げられたらと思う。

## 総括

交流企画部会リーダー 川口 圭  
事故もなく無事に終了することができました。参加者も100名を超えどうなることかと思いましたが、会員・組合員の協力によりさんえすまつりは大成功!!!であったと思います。しかしこれは、始まりですので、これから交流会の回数が増えることや会員間の関係・意識・質の向上が目的です。この目的をどのように達成していくかが今後の目標となっていきます。交流会は会員と組合員の繋がりの基本であり、互いに発展していくために必要不可欠な活動です。絶対に『有益な活動』ですので協力と参加を今後もお願いします。

●**韓国バルンドゥレ生協へ訪問しました** さんえすクラブ事務局長 小林利明  
 2012年11月9日(金)～12日(月)、生活クラブと姉妹提携協定を結ぶ韓国のバルンドゥレ生協に、W.Co、生活クラブ運動グループ、生産者、職員からなる24名による視察団が訪問し、交流会が実施されました。



この交流会に、さんえすクラブから会員4名が参加させていただきました。韓国での生協の成り立ち経過などや、どのような企業と連携しているか、韓国の文化や歴史など、非常に多くのことを学ばせていただく機会をいただいたと思っております。また、交流・懇親会なども多く設けていただき、様々な方たちと交流が出来たことは、大変うれしく思っております。

バルンドゥレ生協のチョンゴンスン理事長、オスンヒョン常務をはじめとした韓国の皆さん、生活クラブ神奈川の皆さんには、大変お世話になり深く感謝申し上げます。



●**福祉クラブ生協 きらり港北開所**

2012年10月、福祉クラブ生活協同組合が、横浜市港北区新羽町に、複合福祉施設「きらり港北」を開所しました。「きらり」は、「里に帰る＝帰来里」と「光輝く＝キラリ」から名付けられました。

10月21日、おおぜいの参加者により盛大に開催されたオープングレセプションには、さんえすクラブからも会員6名が参加しました。

42室の居室の他、デイサービスや子育ての保育室、食事サービスの厨房、福祉クラブ生協本部等からなる充実したこの施設を拠点に、今後いっそう活動を発展させて行かれるものと思います。



●**生活クラブ生協 鎌倉デポーオープン**

2012年12月13日、オープン目標人数1,000名を達成し、鎌倉デポーがオープンしました。10時よりオープンセレモニー。晴天に恵まれ、多くの関係者の集まる中、鏡割りとテープカットが行われました。

11時のオープンにあわせて本当にたくさんの組合員が来所しました。職員が「ここが最後尾」というプラカードをもってレジ待ちの誘導をしていました。店内は明るく広々とし、さらに集会室も併設され、組合員の交流の場として大いに利用されることでしょう。



**交流企画部会報告**

交流企画部会 川口 圭 (有)カワグチ企画  
 年度の最大のイベントのさんえすまつりが無事終了し、これから行なうべきことは交流会の円滑な運営と総括です。まずは、各会員の通常企画の交流企画の提出が全て揃っていないので再度皆様をお願いすると、これまで3年間の部会活動と2回のさんえすまつりについてしっかりと総括を行ない今後の活動計画策定を行なっていきたいと考えております。全てに関して部会だけでは活動できません。理解と協力をこれからも是非是非お願いします。

**情報部会報告**

情報部会 山田恵介 (株)佐藤印刷所  
 本誌「生き活きさんえす」は、平成20年の創刊より5年目にして、ようやく第10号を発行することが出来ました。何とかここまで継続する事が出来たのは、皆様のおかげです。ところで、記念すべき今号から、印刷色をちょっと明るくしてみましたがいかがですか。気持ちも新たにこれからも活動して行きたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

**さんえすクラブ新会員紹介**

(有)アグリサポート

●おかゆシリーズ、紫もち麦、焼酎、梅酒、ケーキ類、光触媒  
 平山明子さん【一言】



日本全国より、美味しい・安心・安全な物を探し出し生活クラブの自主基準に基づき、ご提案。組合員からの「こう云う物があったら」の声の為に、アグリサポートがいます。

◇ 2012年12月末現在 ◇

1. 生活クラブ組合員人数報告 (12月末)

班・戸配	46,670人
デポー	21,549人
計	68,219人

2. 生活クラブ供給報告 (4～12月累計)

班・戸配	120億513万円(供給高)
デポー	31億4,518万円(供給高)
計	151億5,031万円(供給高)
世帯当たり利用金額	
班・戸配	28,046円

デポー 17,011円

3. 福祉クラブ報告

組合員人数	15,891人 (12月末)
供給高 (4～12月累計)	19億418万円 (前年比 97.4%)
一人当たり利用金額	13,334円